

第54回 大阪大学公開講座 2022

異文化・異分野への越境による共創と対話

講義一覧 ●全9講義受講の申込期間：9月20日[火]～10月2日[日]

▶ 10/20 異分野融合研究から見てきた 長寿の秘訣とは

[木] THU
18:30-20:00
1 中之島

健康長寿の要因をさまざまな分野の研究者と一緒に長年研究してきました。病気の予防のみならず、生活のなかで個々人の取り組みで健康寿命が延ばせることがわかってきました。今回の講義でわかりやすく解説いたします。

●個別受講申込期間：10月5日[水]～10月10日[月・祝]

神出 計

医学系研究科
保健学専攻
教授

▶ 11/8 判りやすい新型(脳型、量子)コンピューティング

[火] TUE
18:30-20:00
1 中之島

今の社会は情報に溢れており、早くエネルギー消費の少ない新型の計算手法が求められています。しかしながら今開発が進む脳型や量子コンピューティングは、専門外の人間にはなかなか難解な世界です。材料科学や物理化学の視点からこれらの原理や可能性をわかりやすく解説します。

●個別受講申込期間：10月5日[水]～10月27日[木]

赤井 恵

理学研究科
化学専攻
教授

▶ 11/15 スイス高級時計産業の形成・発展、1980-2020年 —デザインマネジメント論と経営史のアプローチ—

[火] TUE
18:30-20:00
1 中之島

1980年代に日本の時計メーカーが世界の覇権を握ったのに対し、スイスの時計メーカーはその後、劇的な復活を果たしました。現在では、スイスの時計ブランドがこの業界を完全に支配しています。その理由は、スイスの時計産業が製造業からラグジュアリーへと変貌を遂げたからです。この講演では、デザインマネジメントと経営史を用いて、この変化を説明します。

●個別受講申込期間：10月5日[水]～11月3日[木・祝]

ピエール=イヴ・ドンゼ

経済学研究科
経済学専攻
教授

▶ 11/16 ITの進展と法制度の役割の変容

[水] WED
18:30-20:00
1 中之島

従来、法制度による対応が求められていた問題がITの進展によってなくなったり、あるいはITを駆使した仕組みが法制度にとって代わったりする現象がさまざまな場面で生じています。そのような場面(主に物品やサービスの取引に関するもの)をいくつか取り上げて将来の法制度の役割について考えてみたいと思います。

●個別受講申込期間：10月5日[水]～11月3日[木・祝]

松尾 健一

高等司法研究科
法務専攻
教授

▶ 11/22 ヒトの足とロボットの足

[火] TUE
18:30-20:00
1 中之島

ロボットは、設計通りに作られても歩かせるのが難しいのに、人間は、それぞれの足の形は違っても、みんな当たり前のように歩けるのは不思議ではありませんか？本講座では、人間の歩行を観察し、ロボットで実現する方法について、悪戦苦闘しながら研究している経緯についてお話しします。

●個別受講申込期間：10月5日[水]～11月9日[水]

細田 耕

基礎工学研究科
システム創成専攻
教授

▶ 11/24 個性と多様性の町、 大阪が生み出す大学発の化粧品

[木] THU
18:30-20:00
1 中之島

個性と多様性を大事にする大阪に根付いた大学と企業が、化粧品の領域でイノベーションを起こそうとしています。大学と企業のタッグから、これまでどのような化粧品が産まれたのか、今後どのように革新的な進化を起こすのかを知っていただけたらと思います。

●個別受講申込期間：10月5日[水]～11月9日[水]

藤田 郁尚

薬学研究科先端化粧品科学
(マダム)共同研究講座
招へい教授

▶ 12/2 「総合知」活用社会の実現に向けて ～将来可能性教育による高大連携・産学連携の事例紹介～

[金] FRI
18:30-20:00
2 豊中

内閣府 第6期科学技術・イノベーション基本計画を踏まえ、科学技術の振興のみならず、社会的価値を生み出す人文・社会科学の「知」と自然科学の「知」の融合による「総合知」の活用が期待されています。現在、内閣府の業務に関与している立場から「総合知」活用社会への期待と、事例として当研究室での教育事例を紹介します。

●個別受講申込期間：10月5日[水]～11月20日[日]

倉敷 哲生

工学研究科
ビジネスエンジニアリング専攻
教授

▶ 12/3 身近な歯ぎしりの少し難しい話 ～脳は眠らない～

[土] SAT
13:30-15:00
2 豊中

睡眠中に、嫌な音を立てて歯ぎしりする人は決して少なくありません。起きているときに、この歯ぎしりを真似しようとしてもなかなかできません。眠っているにもかかわらず、歯ぎしりが生じるには、脳の活動が重要であることを、研究成果を踏まえて解説します。

●個別受講申込期間：10月5日[水]～11月20日[日]

加藤 隆史

歯学研究科
口腔科学専攻
教授

▶ 12/11 自立を支援する ～デンマークの高齢者介護のしくみ～

[日] SUN
13:30-15:00
2 豊中

高齢化率世界一の日本では、高齢者が重度の要介護状態になれば在宅での生活をあきらめざるをえないケースが多々みられます。自立を最大限支援することをめざすデンマークの高齢者介護システムを学び、今後の高齢社会のあり方を一緒に考えたいと思います。

●個別受講申込期間：10月5日[水]～11月27日[日]

石黒 暢

人文学研究科
外国学専攻
教授

大阪大学と共に、 新たな学問、始めませんか

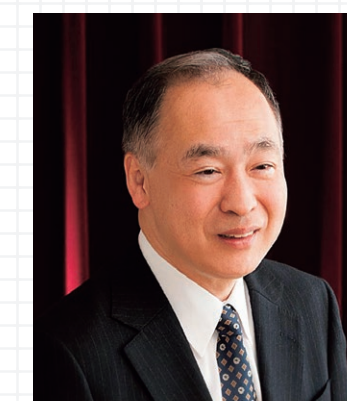
数ある国立大学の中で、初めて総合的な公開講座を開いた大阪大学。
つねに社会や人間を考えた「実学」の精神で講義を展開し、今年で54年目となります。



大阪大学公開講座とは

大阪大学は教育研究に関しさまざまな活動を展開していますが、それらの成果を社会に還元すること、いわゆるアウトリーチ活動を社会に大学が関わる社会学連携と位置づけています。21世紀懐徳堂が企画する大阪大学公開講座は、共通テーマのもとに本学の第一線の研究者が知のアウトリーチを行ってきました。この講座では、社会に対して研究者が一方的に語るのではなく、参加者との対話を通じて共に考えるなかで新たな課題等を見だし、次の教育研究の創成へと結びつけていくこと、つまり「社会学共創」をめざしています。本学との共創に多くの市民の方々が参加して下さることを期待しております。

大阪大学理事・副学長／21世紀懐徳堂学主 三成 賢次



第54回公開講座に寄せて

同じ専門家同士の対話はその分野を究めることにつながりますが、その幅の豊かさを必ずしももたらすものではありません。実際に異なる文化で暮らす体験や異なる分野への取り組みが、新たな視座を促し、我々の価値観を昇華する可能性があります。厄介な課題に直面している現代の生活に、このような越境性のある対話が知の共創を重層的に深化させてくれるでしょう。

大阪大学総長補佐／21世紀懐徳堂「公開講座企画委員会」委員長 佐藤 宏介

大阪大学21世紀懐徳堂と社会学共創

「懐徳堂」は、1724年に大坂の商人が自ら向上することをめざして設けた学問所です。市民の支援で生まれた大阪大学は、そうした「懐徳堂」を「適塾」とともに精神的源流としており、市民とともに学ぶ場や知のネットワークを創りだし、社会との共創を進めるために「21世紀懐徳堂」を創設しました。大阪大学ではさまざまな分野で教育研究活動を活発に展開していますが、それらの成果を社会に還元するとともに、社会といっしょに考えるなかで新たな課題を発見し、さらにそれを教育研究の発展に活かしていく、つまり「社会学共創」の活動を支援するのが「21世紀懐徳堂」の役割です。



大阪大学
21世紀
懐徳堂